

担当科目(探究科目、データサイエンス科目)について

担 当 科 目

以下の前期共通教育科目(1・2年次必修科目)のうち、
赤枠の探究科目、データサイエンス科目の授業支援を行っていただきます。

各回の授業は、原則、教員2名とチューターによるチームティーチングで実施します。(データサイエンス科目はSAも参加)

科 目		必修／選択	履修 学年	履修クォーター				※数字は単位数 合計
				1QT	2QT	3QT	4QT	
探究科目	人間の探究	各科目必修	1年	2	2		2	6
	社会の探究		1年	2	2		2	6
	自然の探究		1年	2	2	授 業 な し	2	6
総合英語		必修	1年	1	1		1	3
データサイエンス		必修	1年	1	1		1	3
			2年	1	1		1	3
リーダーシップ		必修	2年	1	1※		1	3
I 類単位数:計30単位				10	10		10	30

時 間 割

2コマ連続で授業に入っていただきます。
探究科目:1回2コマ連続授業×1クラス
データサイエンス科目:1回1コマ授業×2クラス
授業は第1、2、4QTに実施されます(第3QTはなし)

時 限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	人間の探究	社会の探究	自然の探究	データサイエンス	データサイエンス
2	人間の探究	社会の探究	自然の探究	データサイエンス	データサイエンス
3	人間の探究	社会の探究	自然の探究		
4	人間の探究	社会の探究	自然の探究		

- 探究科目は人間・社会・自然という3つの科目群から構成
- 各回の授業は教員2名&チューターによるチームティーチング

高校までの経験や学修

育成する資質・能力

【人間の探究】

セルフマネジメントと学修計画
キャリア意識の醸成
学びと成長の記録

科目テーマをつうじて
自己の学習観・価値観の形成

【社会の探究】

他者との協働
コミュニケーション力
プレゼンテーション(PBL)
(PowerPoint)

科目テーマをつうじて
自己と地域・社会との
かかわりの考察

【自然の探究】

批判的・論理的・創造的
思考力
ライティング(Word)

科目テーマをつうじて
自己と自然・環境との
かかわりの考察

探究科目の「学び」をふまえて各学科の専門科目へ

コアチューター

1. 教職員と連携したより良い学修支援の仕組み構築と運営
(グループワークなどの授業内学修支援、各学科教員との情報共有・打ち合わせなど)
2. クラスチューターのマネジメント
3. 全1年生を対象とする「学生面談」の運営・実施(夏・冬 年2回)
4. 「学修相談コーナー」の運営
5. 学修イベントの開催、各学科との連携ミーティングなど、学生の学びと成長を支える施策の実施

クラスチューター

1. 授業担当教員・コアチューターと協働した、グループワークなどの学修支援
2. 授業後の学生が入力した「授業の振り返り(リフレクション)」へのコメント返却
3. 全1年生を対象とする「学生面談」の実施(夏・冬 年2回)

※「学修支援」とは

授業中の指導、欠席者・課題未提出者の洗い出しおよびフォロー、授業外の指導・面談など、総合的な学生の学びに対するサポート

※コメント返却業務については業務委託契約を締結していただきます。

データサイエンス科目での教育目標
主観的な判断ではなく、データをもとに意思決定を行う
データドリブンな思考を高め
社会の課題を解決し、価値を創造していく人材となる

◆データサイエンス V～VI

統計分析や論理的な思考スキルを身に付け、課題の発見や解決、社会への価値創造につながる仮説の構築を、実データを使った演習を通じて習得する。

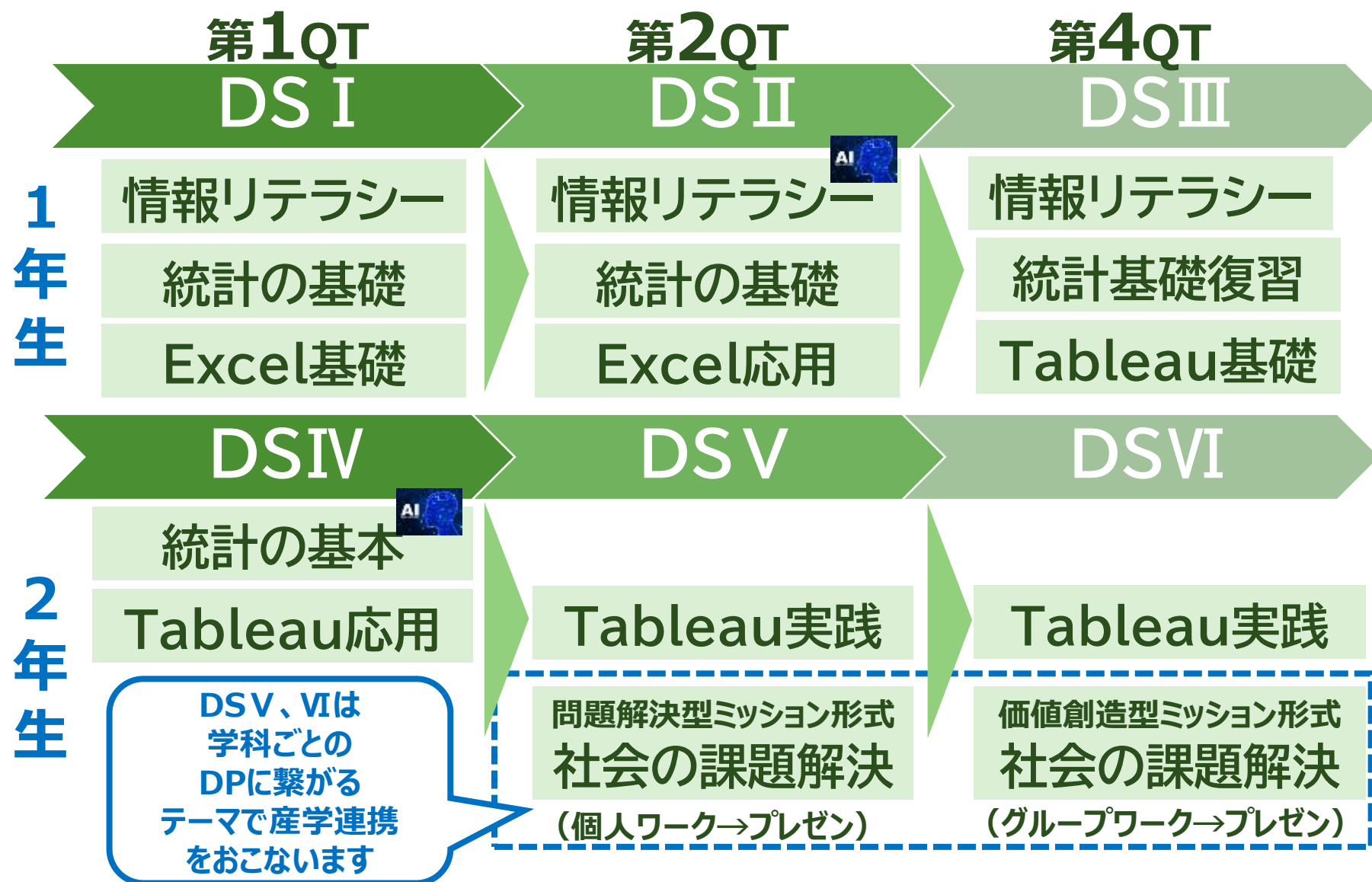
◆データサイエンス I～IV

自らとデータサイエンスとをつなぐ道を開くために、データとは何なのか、データを活用するとはどういうことなのかを、統計の基礎をベースにExcelでの情報処理、tableauでの可視化を通じて学ぶ。
またPCやデータを利用する際に必要となる情報リテラシーも習得する。

- ✓ データサイエンスの科目の基本軸は以下の項目で検討

知識	情報リテラシー（倫理・セキュリティ・基本知識）
	データサイエンス基本知識 
技能	統計学の基礎 ✕ DSⅠ～ Excelによる情報処理 DSⅡ～ グラフやデータの読み取りと表現 DSⅢ～ tableauによるデータの可視化 DSⅤ～ データサイエンス×価値創造
思考	
判断	
表現	

社会の
課題解決



コアチューター

1. 教職員と連携したより良い学修支援の仕組み構築と運営
(授業・テストに向けた補習、データサイエンス関連の資格取得プログラム、新入生対象のPC相談会、各学科教員との情報共有・打ち合わせなど)
2. クラスチューターとSAのマネジメント
3. 授業準備および学修支援
4. 全1年生を対象とする「学生面談」の実施(夏・冬 年2回)

クラスチューター

1. 授業担当教員・コアチューターと協働した、授業準備および学修支援
2. 全1年生を対象とする「学生面談」の実施(夏・冬 年2回)

※「学修支援」とは

授業中の指導、欠席者・課題未提出者の洗い出しおよびフォロー、授業外の指導・面談など、総合的な学生の学びに対するサポート

※学生が授業で学ぶ内容の学修支援を行うため、統計、Excel、tableau について、一定のレベルを習得していることが前提となります。